



# 株式会社インフォメーション・ディベロプメント アナリスト協会 会社説明会



2009年  
2月5日



1. 当第3四半期(連結累計期間)の連結業績概況
2. 業界動向と同業他社の状況
3. 通期の見通しと将来の方向性について

## 1. 当第3四半期(連結累計期間)の連結業績概況

- ◆ 決算ハイライト
- ◆ 損益状況と財政状態
- ◆ 売上高と利益の分析
- ◆ NCS社について
- ◆ 株式情報

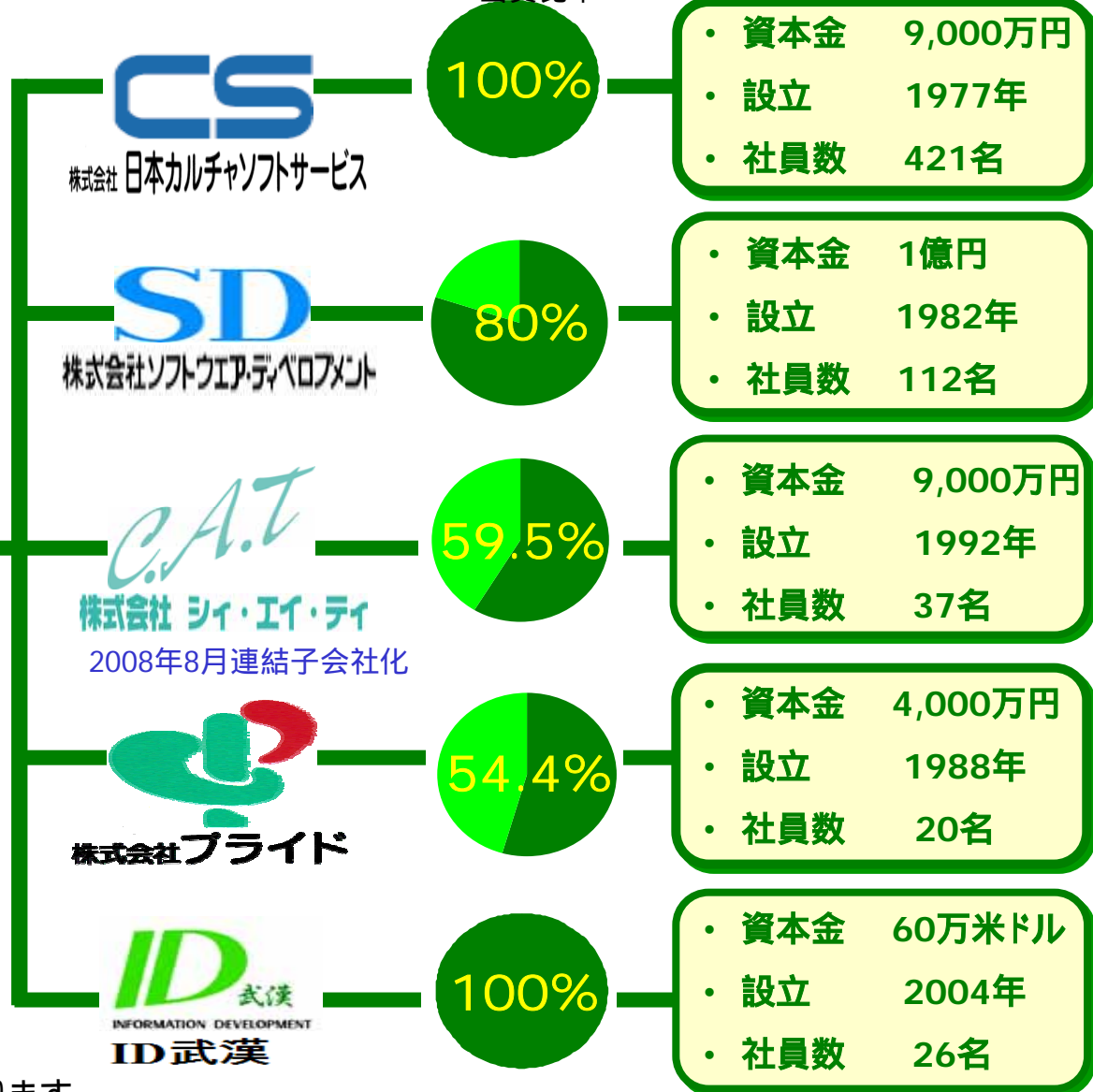
# IDグループについて



INFORMATION DEVELOPMENT  
株式会社 インフォメーション・ディベロップメント

- ★ **資本金**  
5億9,234万円
- ★ **設立**  
1969年10月
- ★ **社員数**  
1,665名

ID出資比率



2008年12月末時点  
出資比率は自己株式を控除しております。

▶ 売上高 133.2億円 (前年同期比 +3.2%)

▶ 営業利益 7.7億円 (前年同期比 6.5%)

▶ 経常利益 7.7億円 (前年同期比 5.2%)

▶ 四半期純利益 3.9億円 (前年同期比 +0.1%)

# 連結損益状況

(百万円)	2007.12 構成比 (%)	2008.12 構成比 (%)	前期比	計画比
売上高	12,918	<b>13,328</b>	+3.2%	△3.7%
売上原価	10,481 81.1	<b>10,815</b> 81.1	+3.2%	△3.6%
売上総利益	2,437 18.9	<b>2,512</b> 18.9	+3.1%	△4.5%
販管費	1,608 12.5	<b>1,737</b> 13.0	+8.0%	△0.6%
営業利益	828 6.4	<b>774</b> 5.8	△6.5%	△12.1%
経常利益	818 6.3	<b>776</b> 5.8	△5.2%	△10.4%
四半期純利益	395 3.1	<b>395</b> 3.0	+0.1%	△18.0%
1株当たり 四半期純利益	52.75円	<b>53.26円</b>	-	-

# 単体損益状況

(百万円)	2007.12 構成比 (%)	2008.12 構成比 (%)	前期比	計画比
売上高	9,686	<b>10,189</b>	+5.2%	△1.2%
売上原価	7,895 81.5	<b>8,237</b> 80.8	+4.3%	△2.0%
売上総利益	1,791 18.5	<b>1,952</b> 19.2	+9.0%	+2.2%
販管費	1,197 12.4	<b>1,287</b> 12.6	+7.5%	+1.5%
営業利益	593 6.4	<b>664</b> 6.5	+12.0%	+3.4%
経常利益	624 6.4	<b>715</b> 7.0	+14.6%	+6.4%
四半期純利益	361 3.5	<b>416</b> 4.3	+15.1%	+5.8%
1株当たり 四半期純利益	48.23円	<b>56.02円</b>	-	-

# 連結財務状況

(百万円)

2008.12

前期末比

流動資産	4,347	△10.3%
現金及び預金	1,457	△6.0%
固定資産	4,962	+4.0%
総資産	9,310	△3.2%
負債	3,595	△14.4%
有利子負債	1,057	+20.1%
利益剰余金	4,852	+5.5%
株主資本	5,561	+4.8%
営業キャッシュ・フロー	298	
投資キャッシュ・フロー	△424	
財務キャッシュ・フロー	32	

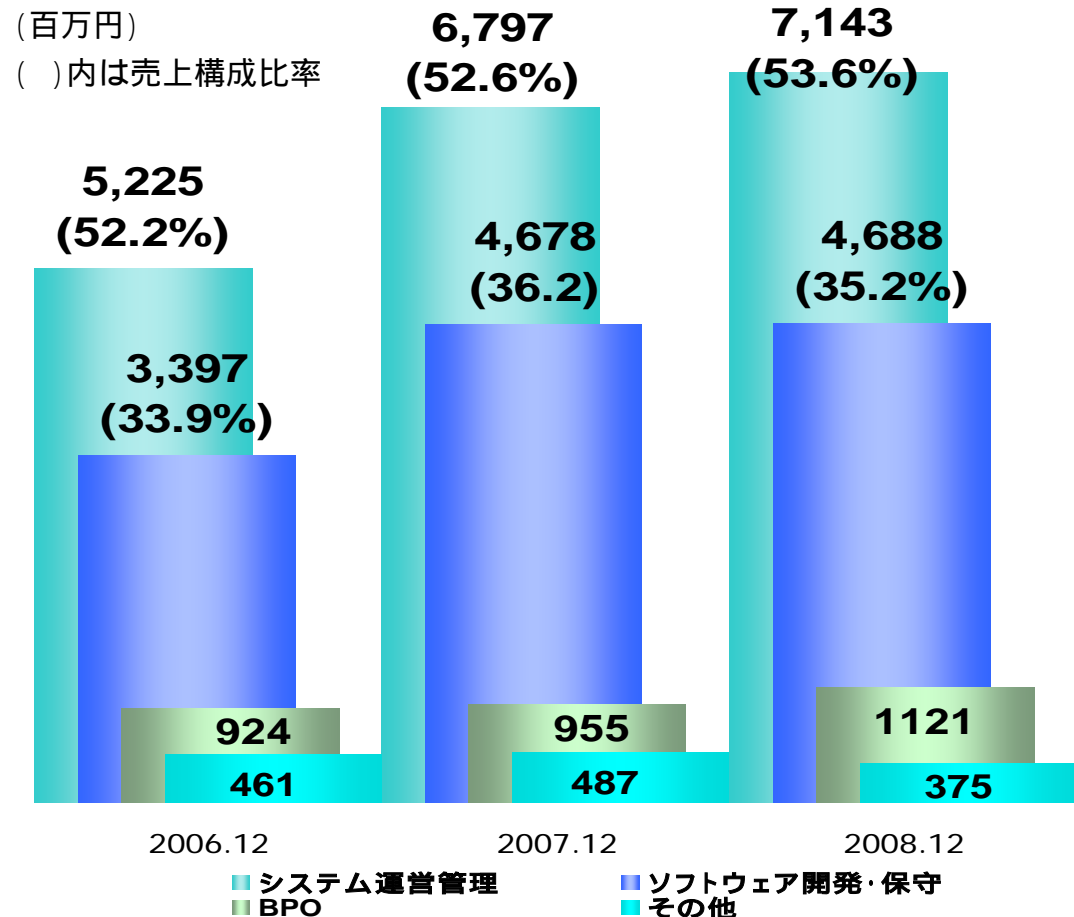
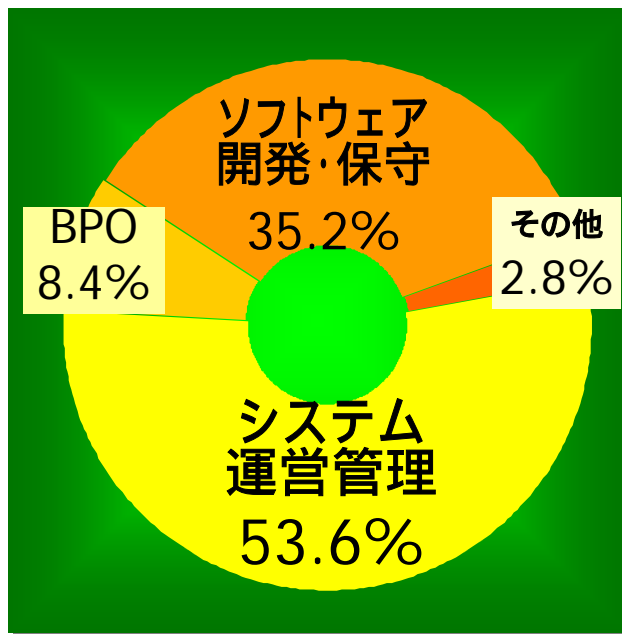
CAT社の連結子会社化  
(2008.8)による変動  
株式取得  
資金339百  
万円



# 売上高分析 (事業別)

前期比	システム 運営管理	ソフトウェア 開発・保守	BPO	その他
	+5.1%	+0.2%	+17.4%	△23.1%

## 事業別売上高構成

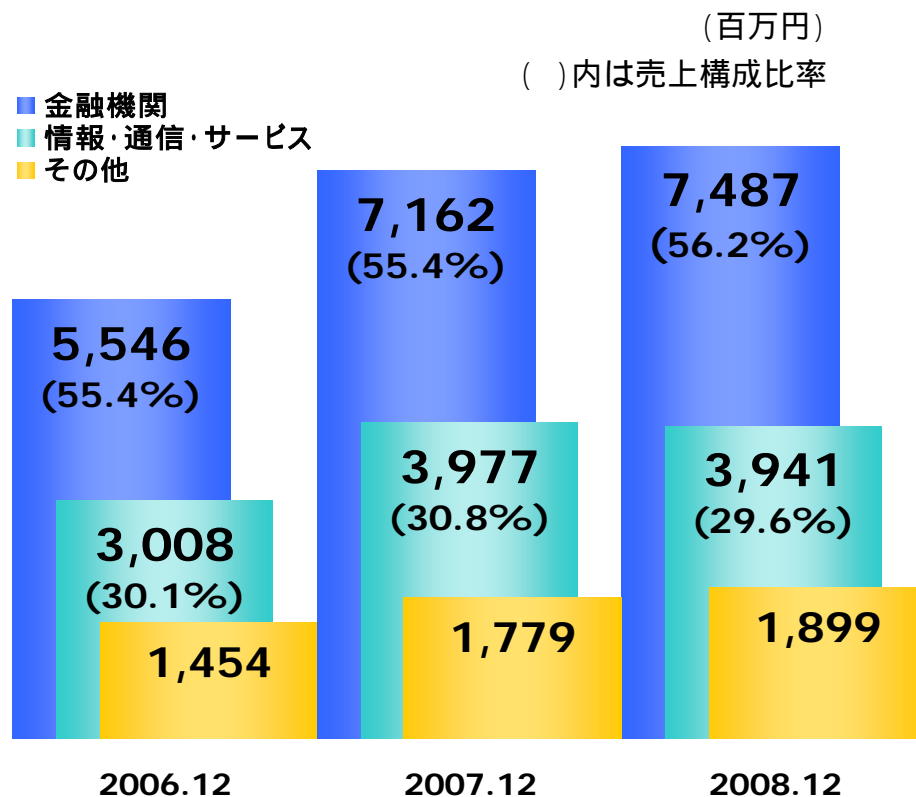
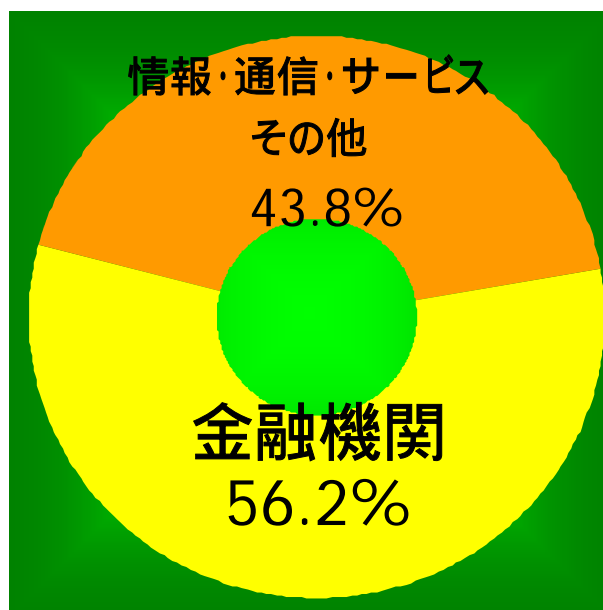


Breakthrough 200!

# 売上高分析 (顧客別)

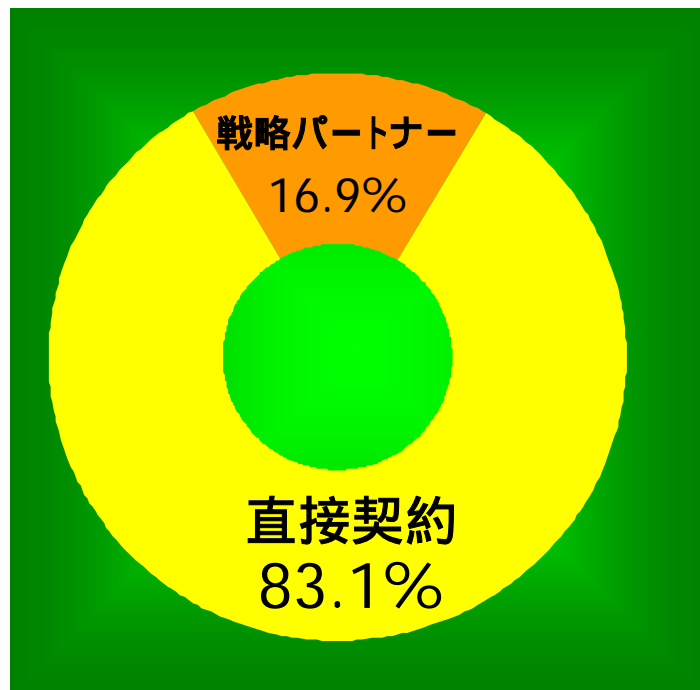
前期比	金融機関	情報・通信・サービス	その他
	+4.6%	△0.8%	+6.6%

## 顧客別売上高構成



Breakthrough 200!

## 契約形態別売上高構成



## < 当社の主要顧客 >

### 直接契約

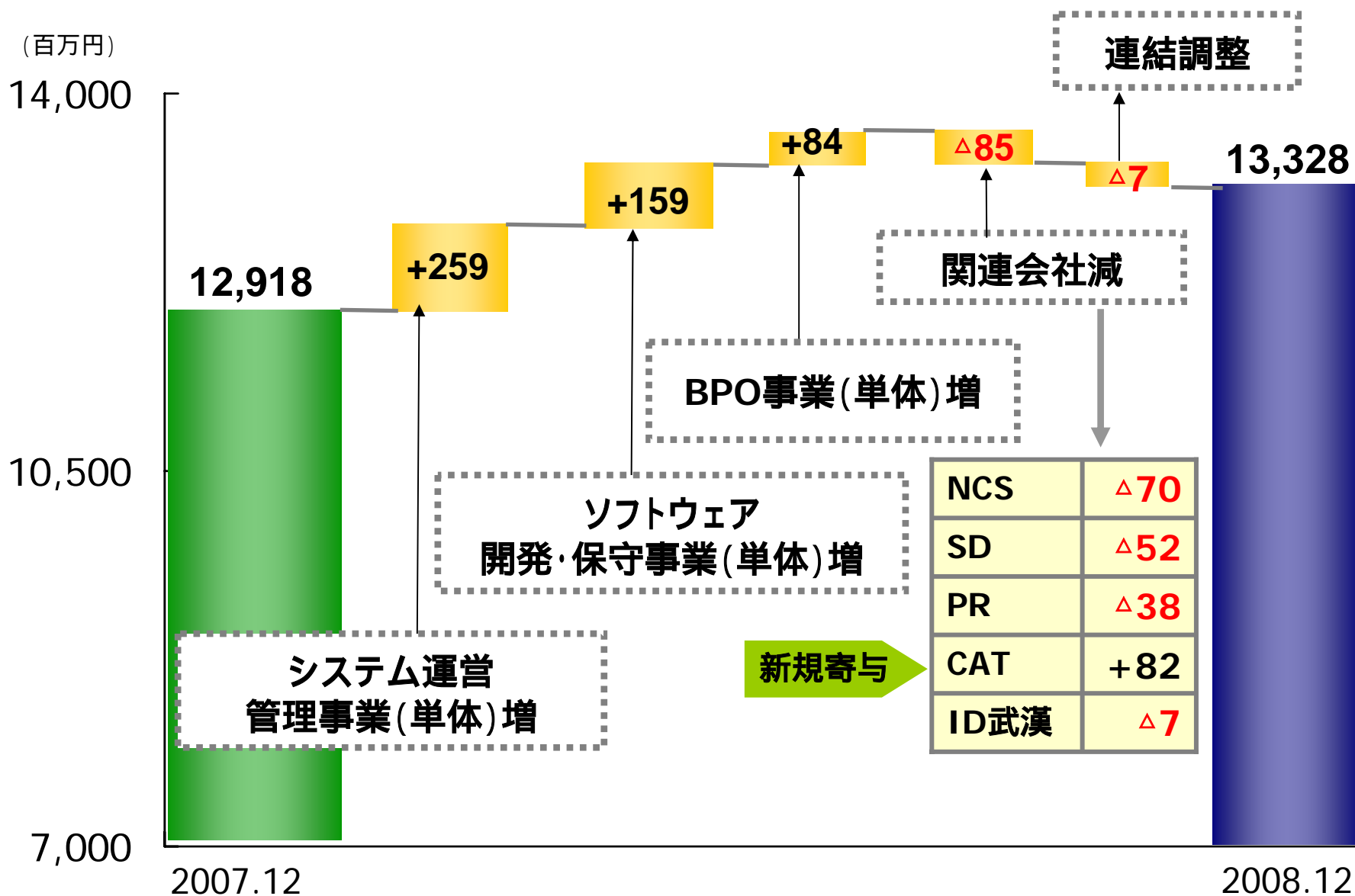
- ・金融機関
- ・情報・通信・サービス
- ・その他  
(製造・輸送・公共団体・エネルギー等)

### 戦略パートナー

- ・大手ベンダー

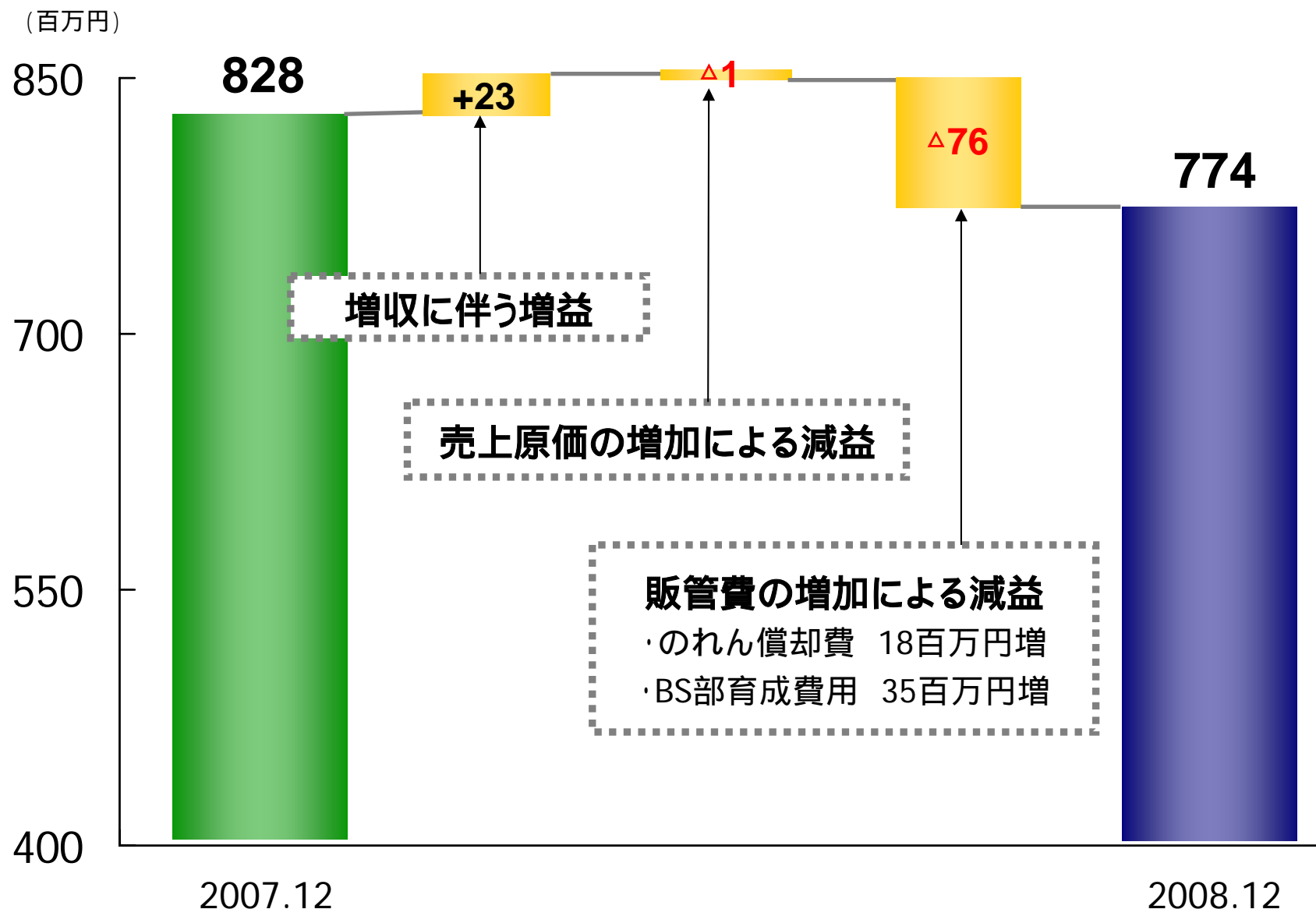
# 連結売上高の対前期比増収要因

Breakthrough 200!

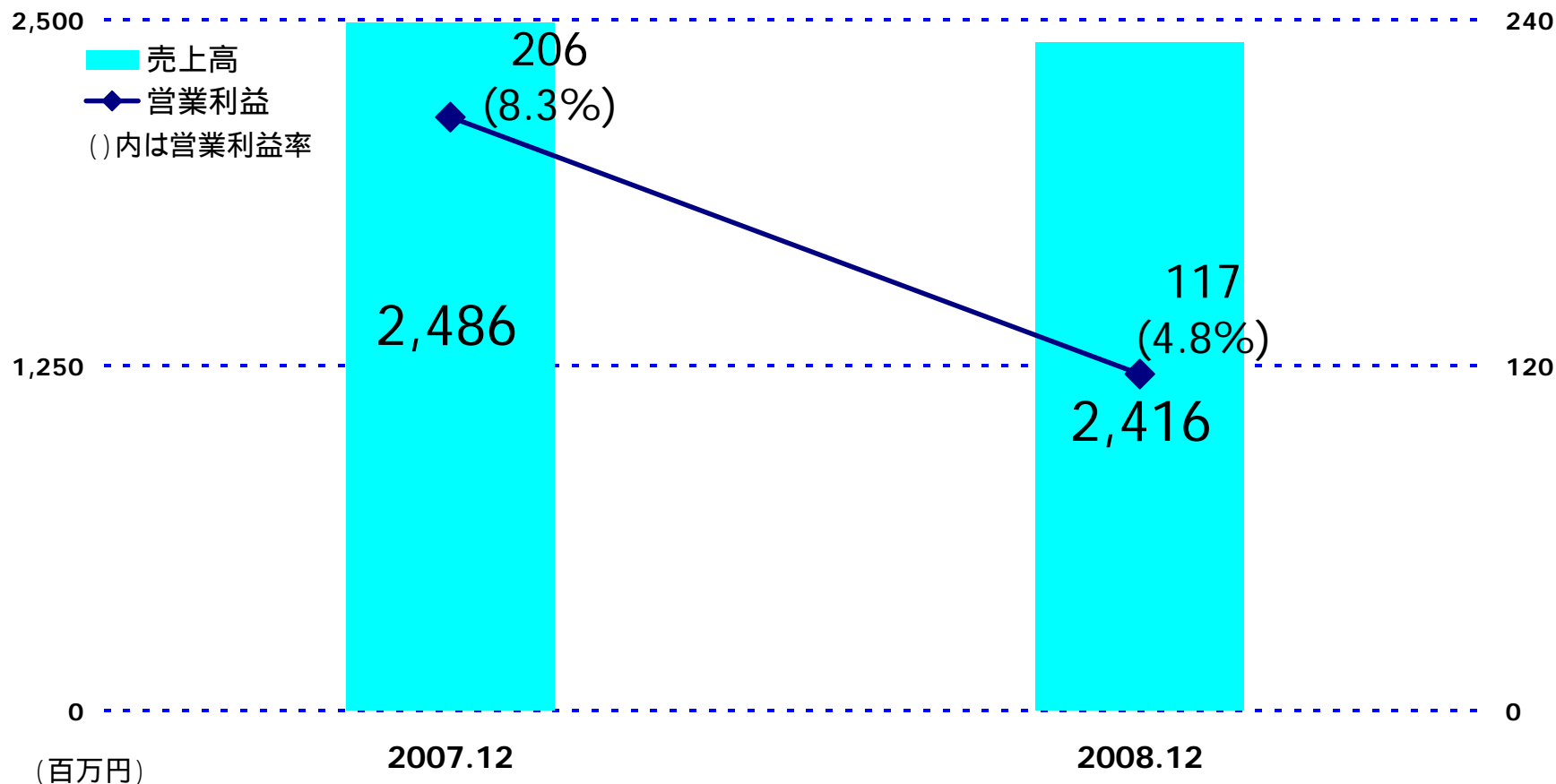


# 連結営業利益の対前期比増減要因

Breakthrough 200!

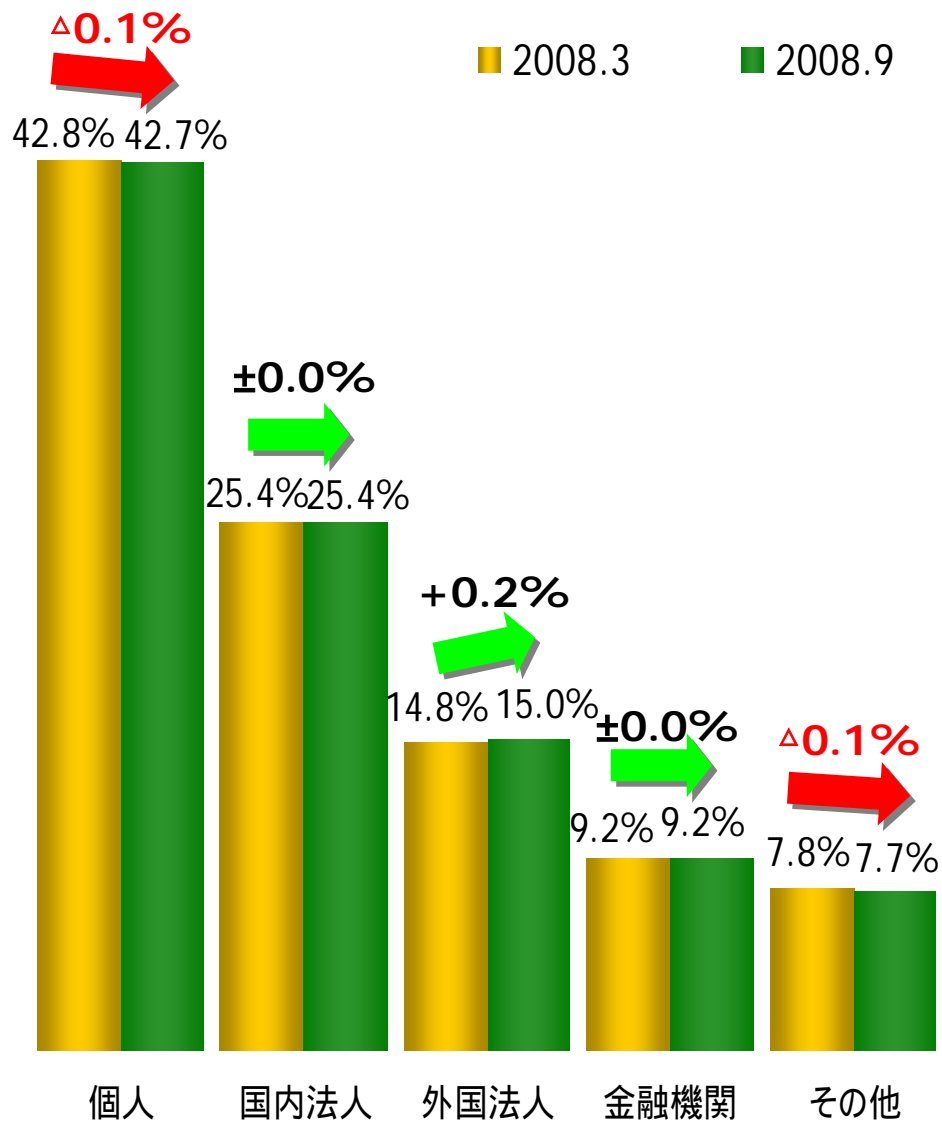


- 事業の見直しとグループ内の業務提携が順調に推移
- 国内事業所(3ヶ所)の開発案件の延期と中止により減収減益



# 株式情報 (2008年9月30日現在)

## 株主構成の推移



## 大株主 (TOP10)

株主数1,975名 (前期末比57名減)

大株主	持株比率
1 有限会社エイ・ケイ	8.7%
2 株式会社 みずほトラストシステムズ	8.5%
3 タイヨー パール ファンド エルピー	8.1%
4 ID従業員持株会	6.2%
5 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505104	5.4%
6 みずほ信託銀行株式会社	3.5%
7 株式会社 ケイ・シー・エス	3.5%
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.9%
9 竹田 和平	2.3%
10 船越 朱美	1.6%

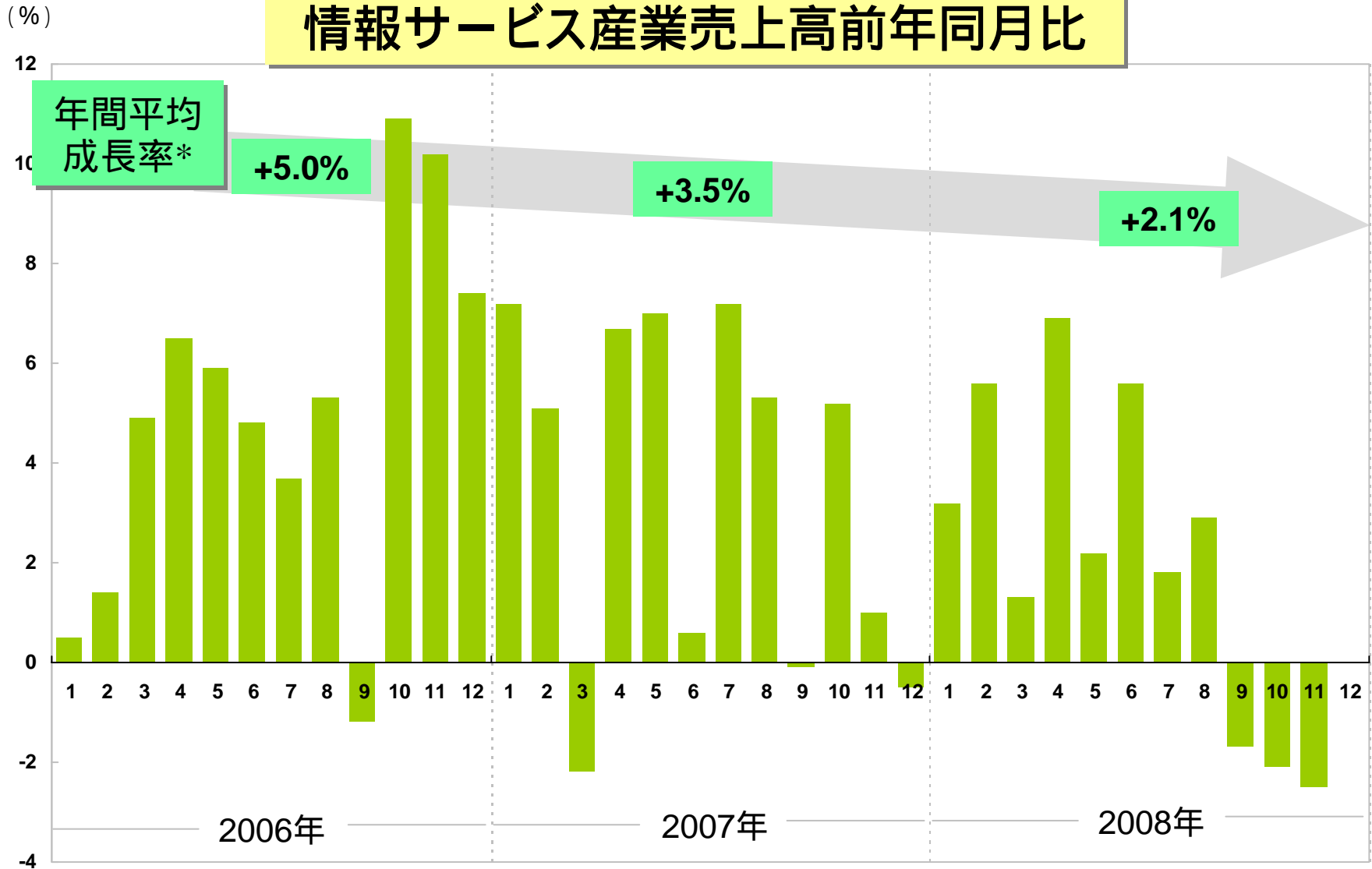
自己株式(601,485株)を除く

## 2. 業界動向と同業他社の状況について

- ◆ 情報サービス業界の動向
- ◆ 同業他社の状況



## 情報サービス産業売上高前年同月比

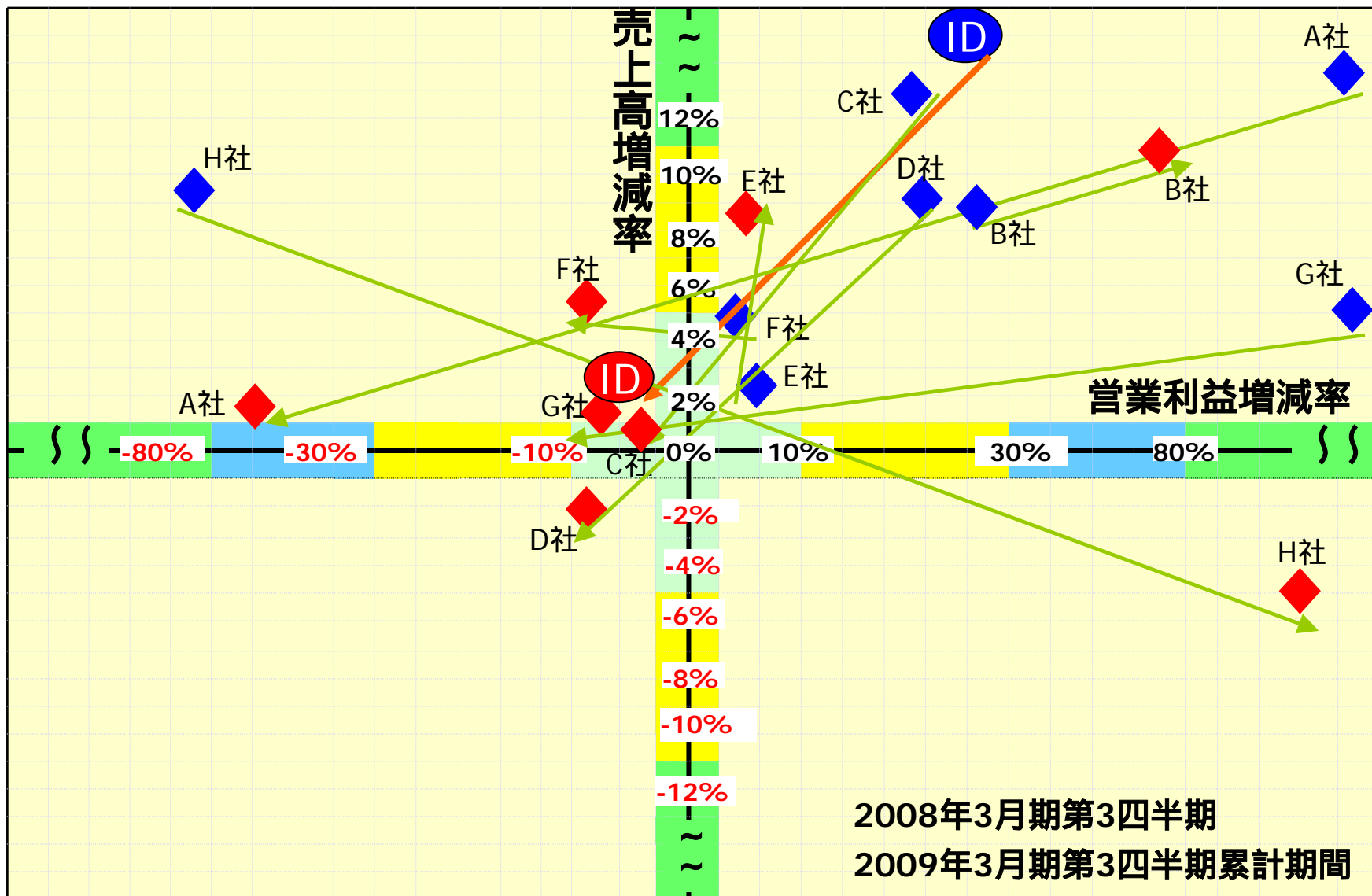


\*月次成長率の単純合計値の平均

出所) 経産省特定サービス産業動態統計調査より当社作成

# 同業他社の決算状況 (第3四半期累計期間実績)

Breakthrough 200!



2008年3月期第3四半期  
2009年3月期第3四半期累計期間

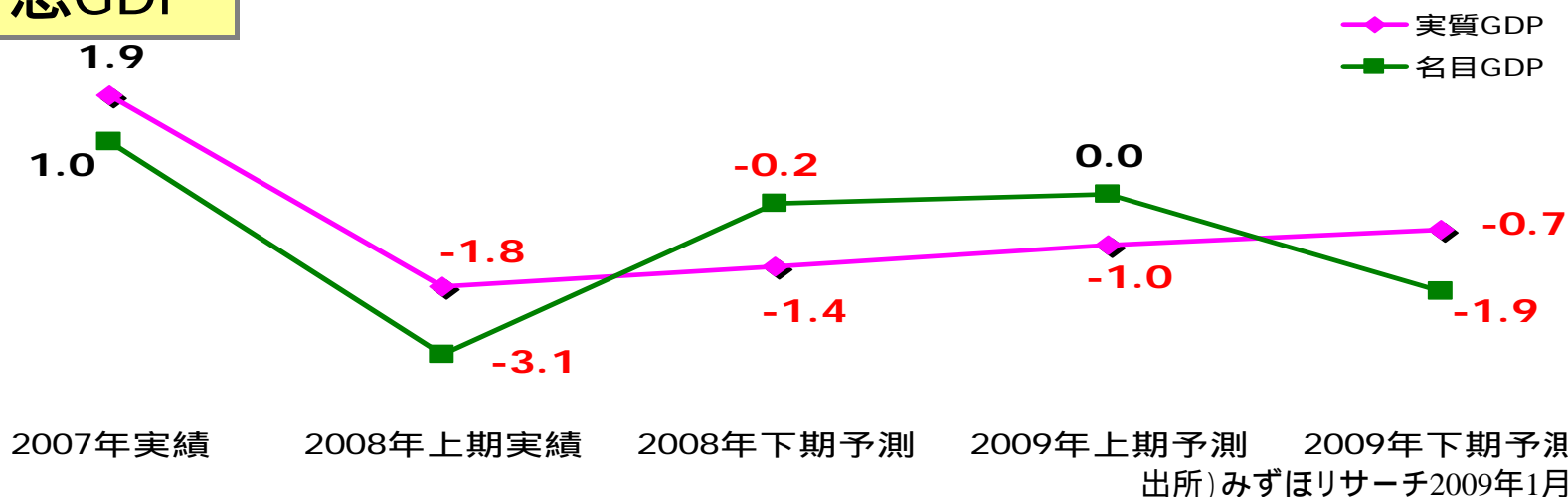
出典: 各社2009年3月期第3四半期決算発表資料より当社作成

3. 通期の見通しと今後の方向性について
- ◆ 業界動向と2009年3月期の業績見通し
  - ◆ 今後の方向性－成長戦略 & 中期経営計画
  - ◆ CSR経営について

## 2008年度からマイナス成長の予想

### 予想GDP

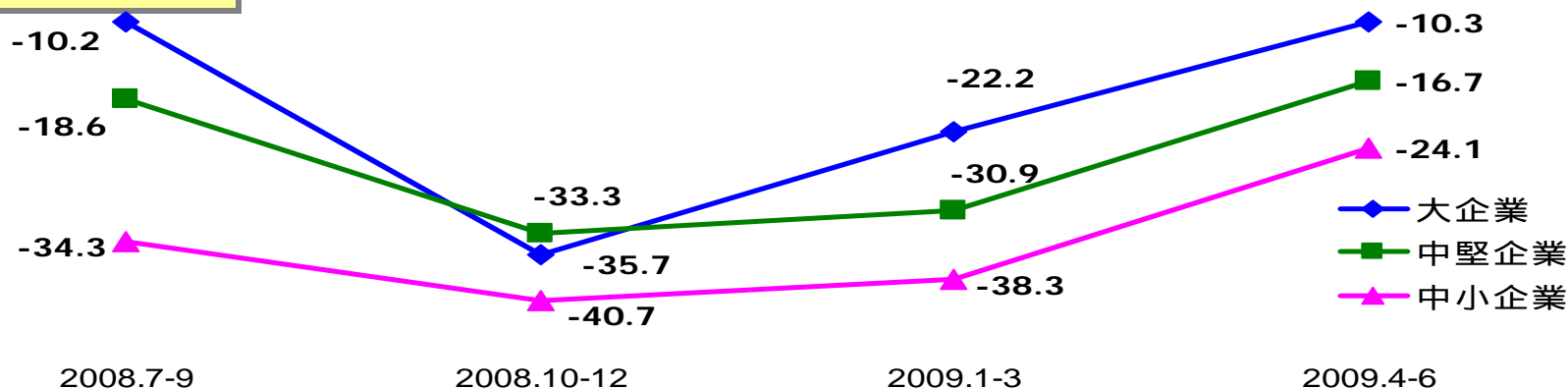
単位 (%)



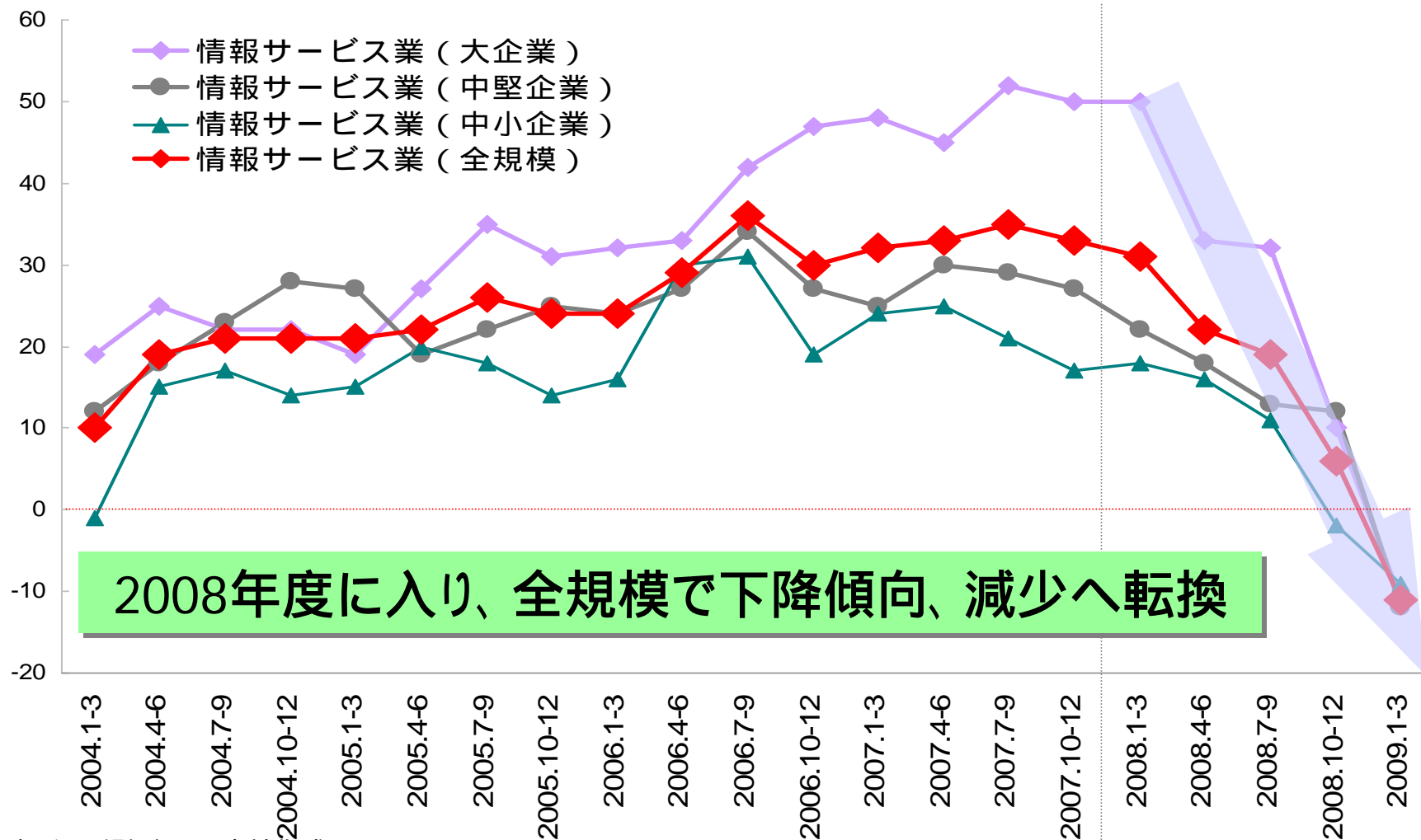
### BSI値

単位 (%)

BSI: 法人景況判断指数 出所) 内閣府・財務省12月24日発表資料より当社作成



## 情報サービス業 業況DI値(予測)推移

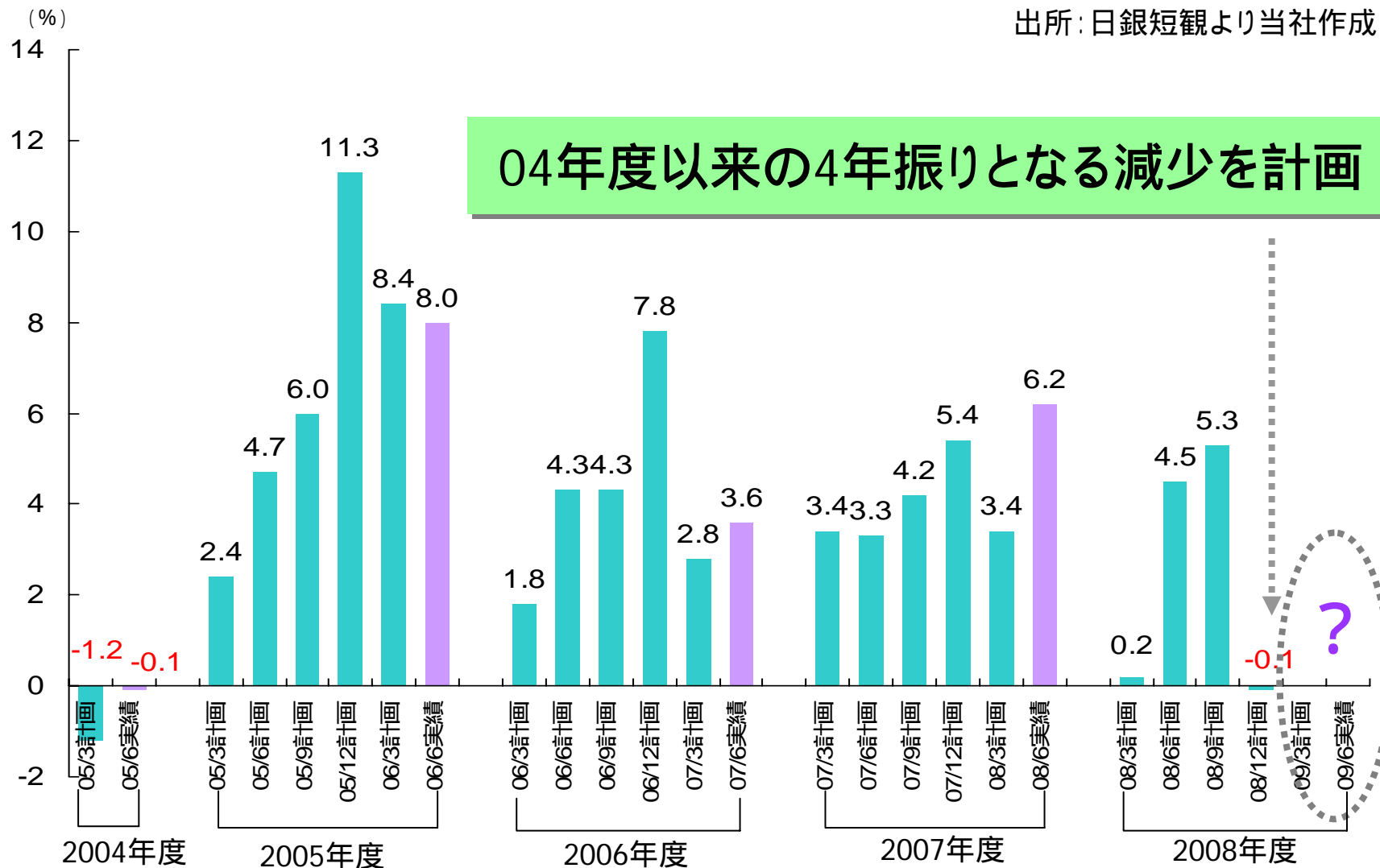


2008年度に入り、全規模で下降傾向、減少へ転換

出所) 日銀短観より当社作成

## (全産業+金融機関)ソフトウェア投資実績・計画前年比増減率

出所：日銀短観より当社作成



# 2009年3月期業績の見通し



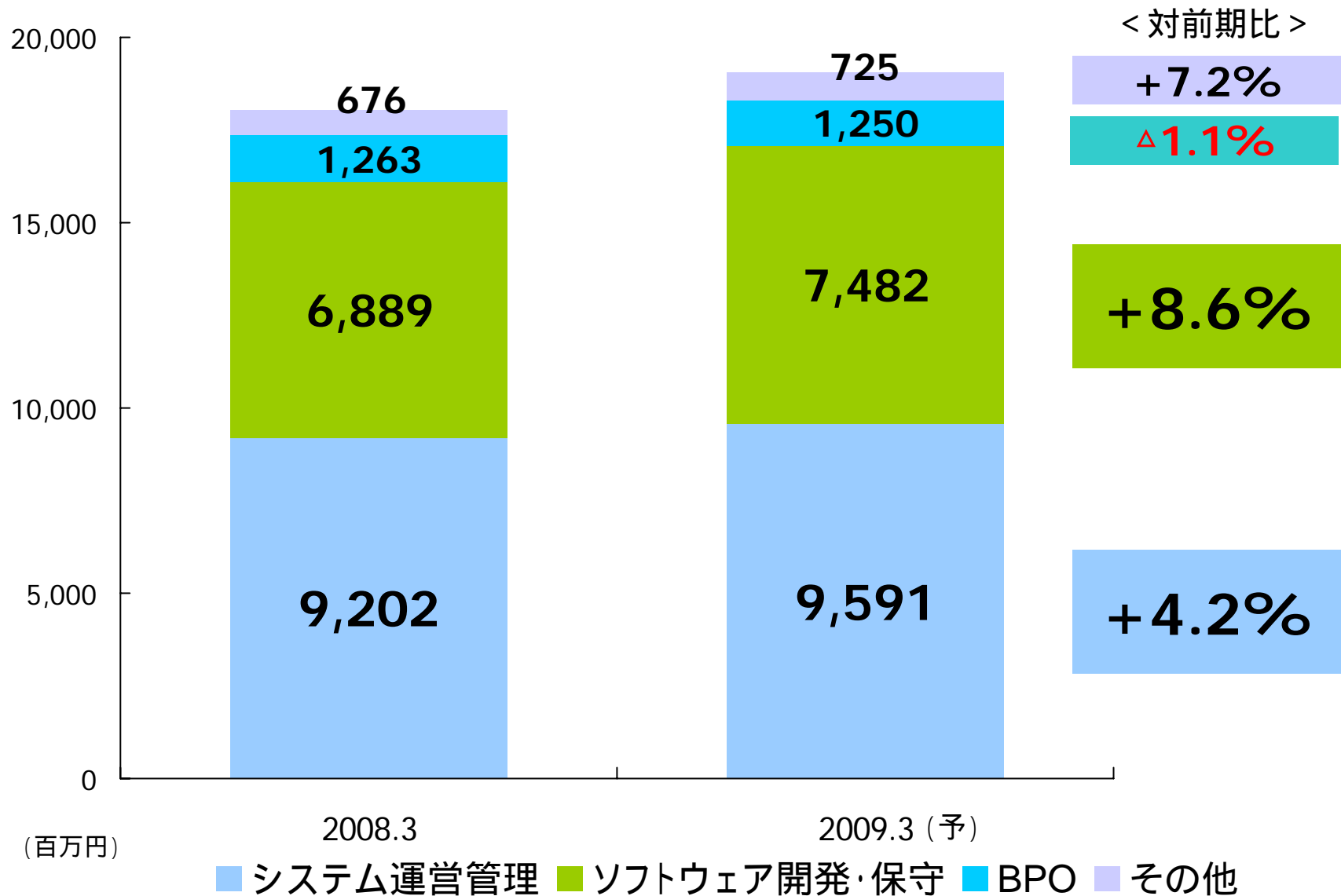
Breakthrough 200!

(百万円)	2009.3	2008.3	前期比
<b>売上高</b>	<b>19,050</b>	18,032	<b>+5.6%</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,270</b>	1,200	<b>+5.8%</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,250</b>	1,191	<b>+4.9%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>670</b>	594	<b>+12.6%</b>
1株当たり当期純利益	<b>90.20円</b>	79.58円	<b>+13.3%</b>
<b>配当金</b>	<b>19円</b>	19円	
<b>配当利回り</b>	<b>3.8%*</b>	3.1%	
<b>連結配当性向</b>	<b>21.1%</b>	23.9%	

\*12月30日時点の株価496円にて算出

# 2009年3月期業績の見通し(事業別売上) **ID GROUP**

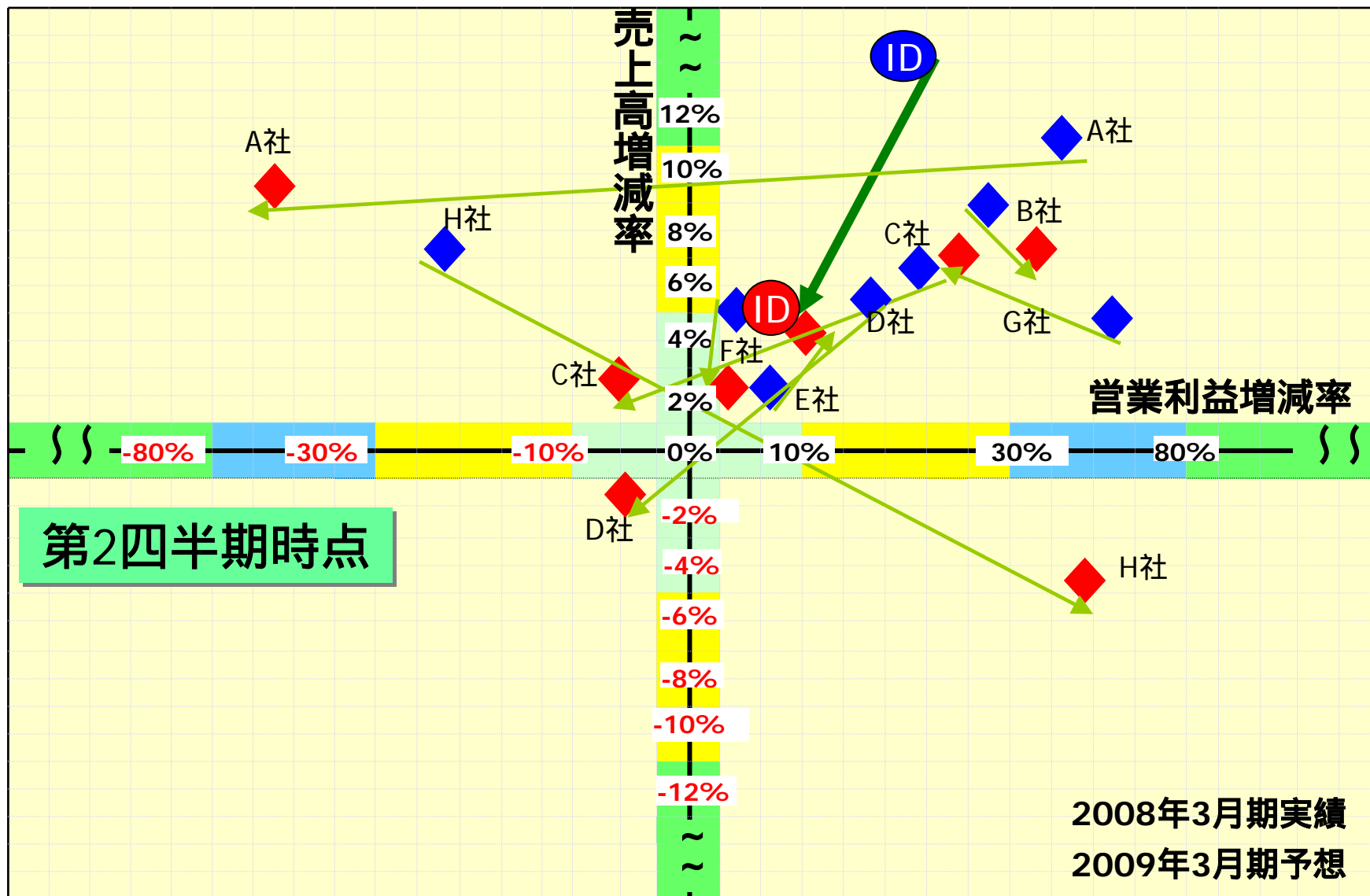
Breakthrough 200!





# 同業他社の通期予想 (2008.3/2009.3)

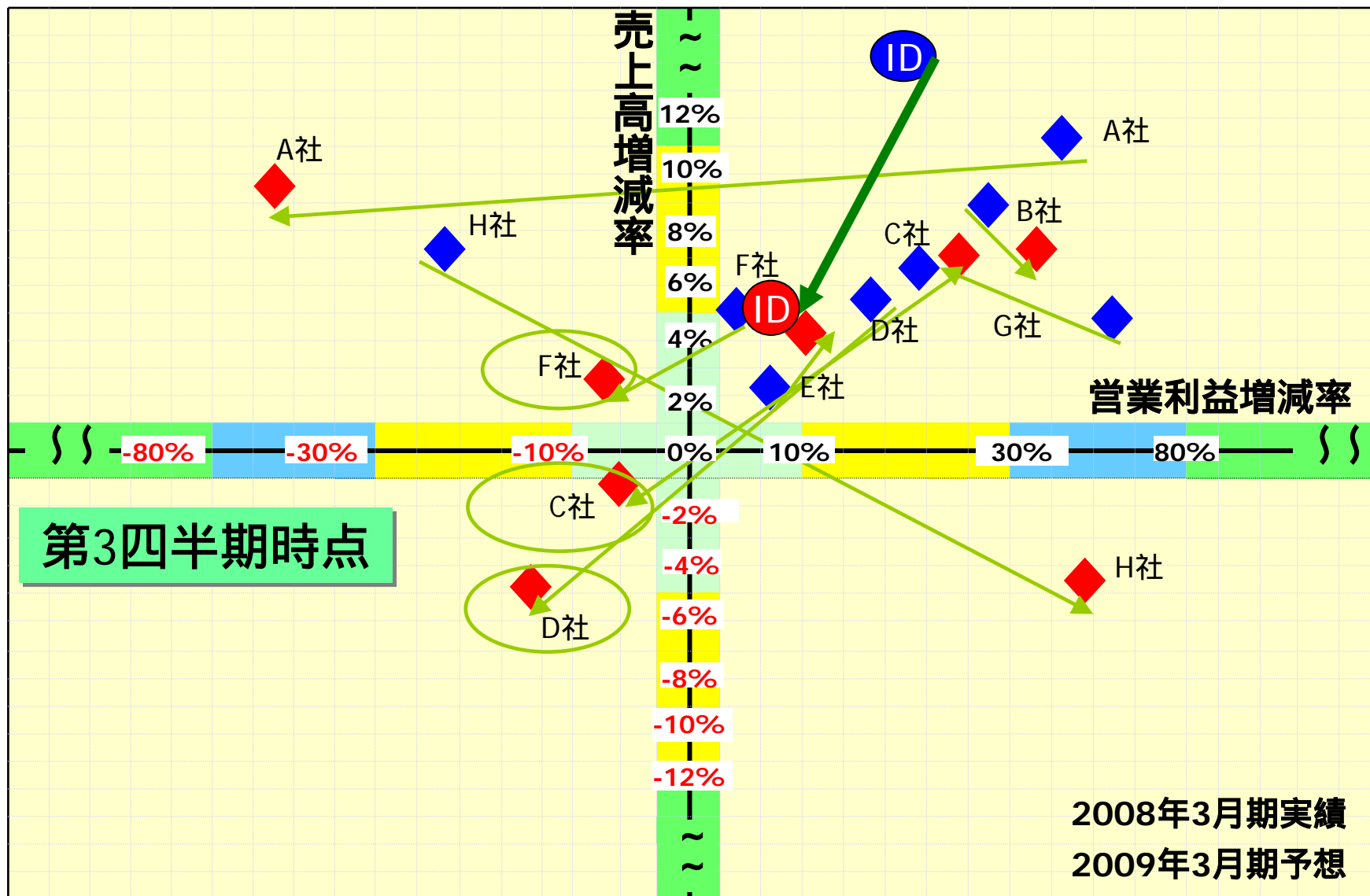
Breakthrough 200!



出典: 各社2009年3月期第2四半期決算発表資料より当社作成

# 同業他社の通期予想 (2008.3/2009.3)

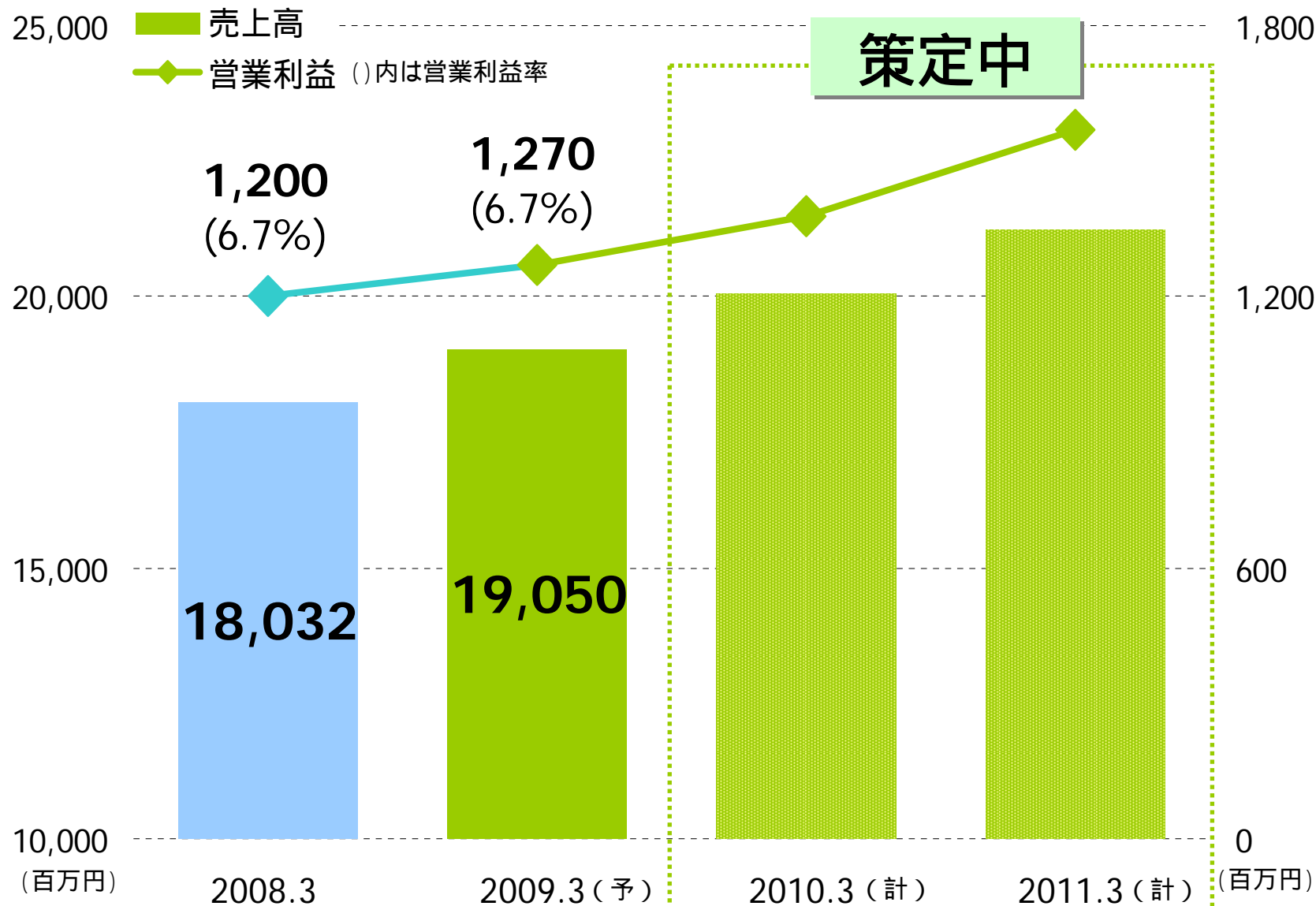
Breakthrough 200!



出典: 各社2009年3月期第3四半期決算発表資料より当社作成

# 中期経営計画一連結業績目標

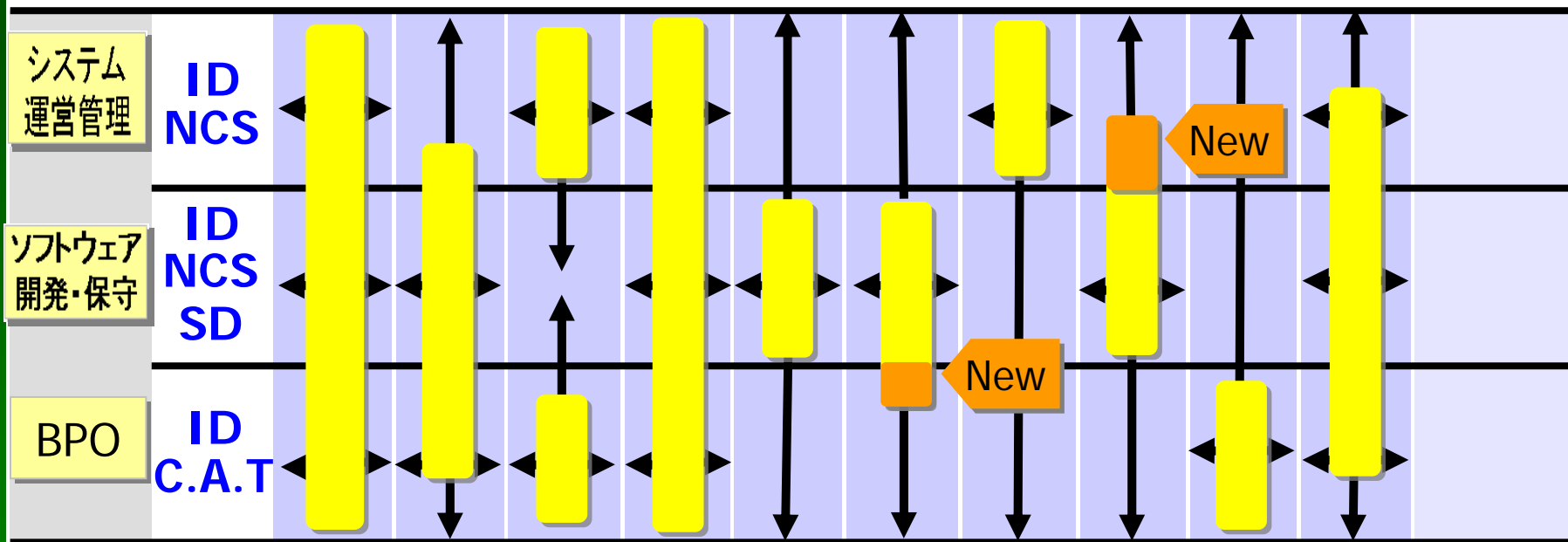
Breakthrough 200!



## グループ全体のBOO戦略\*で既存顧客へ深耕

\*BOO戦略: ビジネス・オペレーションズ・アウトソーシングの略称で、川上から川下までの一括サービスを提供する戦略です。

既存顧客: A社 B社 C社 D社 E社 F社 G社 H社 I社 J社 ……X社



現在 未来

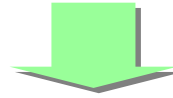
↑  
プライド(コンサルティング)  
ID武漢(オフショア)

↑  
新規顧客  
新規サービス C.A.T

Breakthrough 200!

戦略的な連結子会社

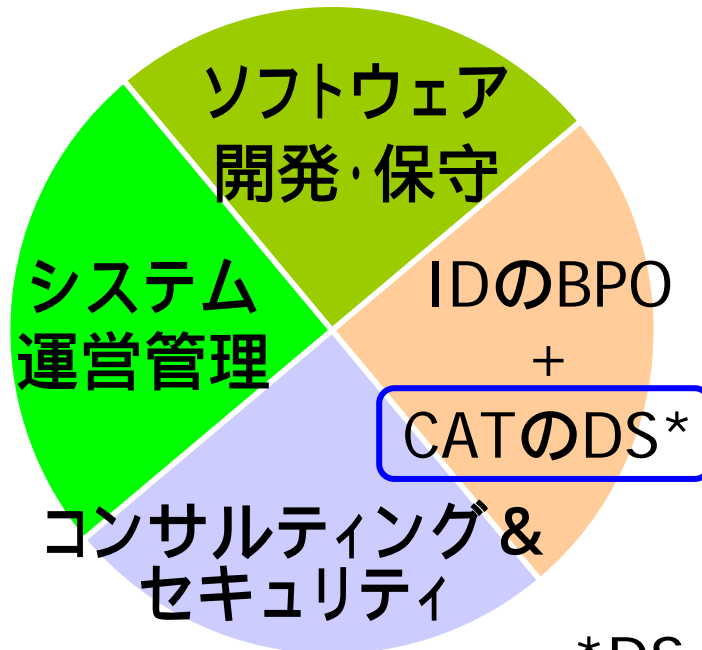
付加サービスの提供



# グループ全体にてBOO戦略\*を推進

\*BOO戦略: ビジネス・オペレーションズ・アウトソーシングの略称で、川上から川下までの一括サービスを提供する戦略です。

## < IDグループ事業内容 >

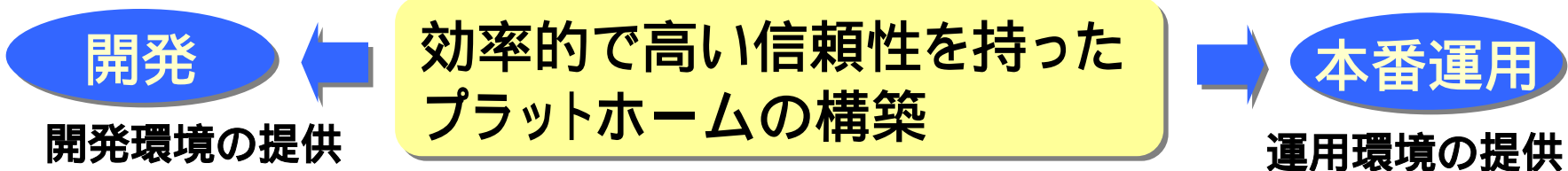


### 文書電子化

- スキャニング
- データ入力
- CAD
- 画像処理
- DTP

\*DS: デジタルソリューション

## ■ 基盤系ソリューション(BS)



## ■ IDグループにおける展開

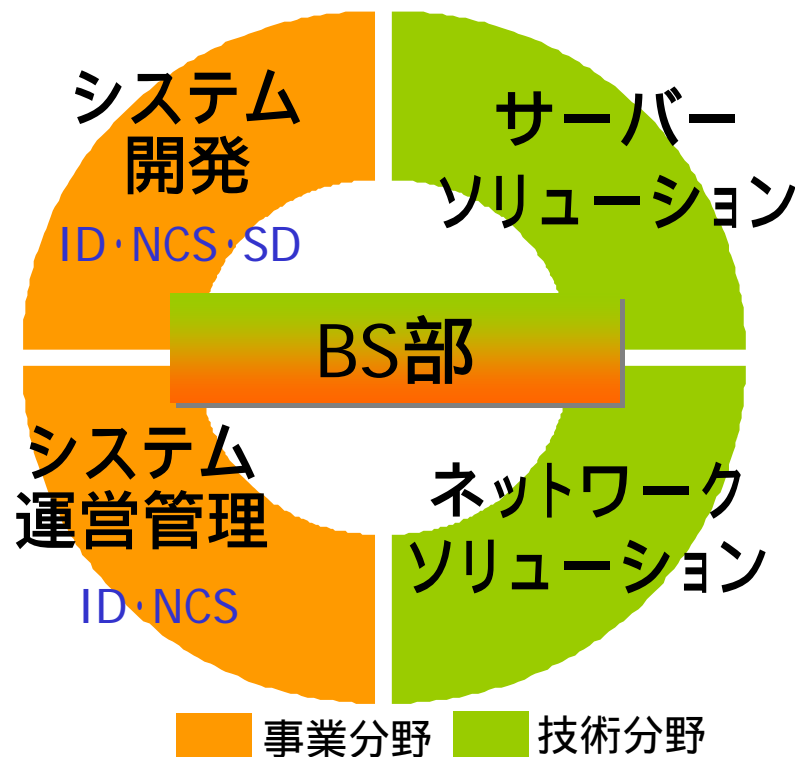
長年の運用ノウハウを活用

### ▶ 基盤要員の増強

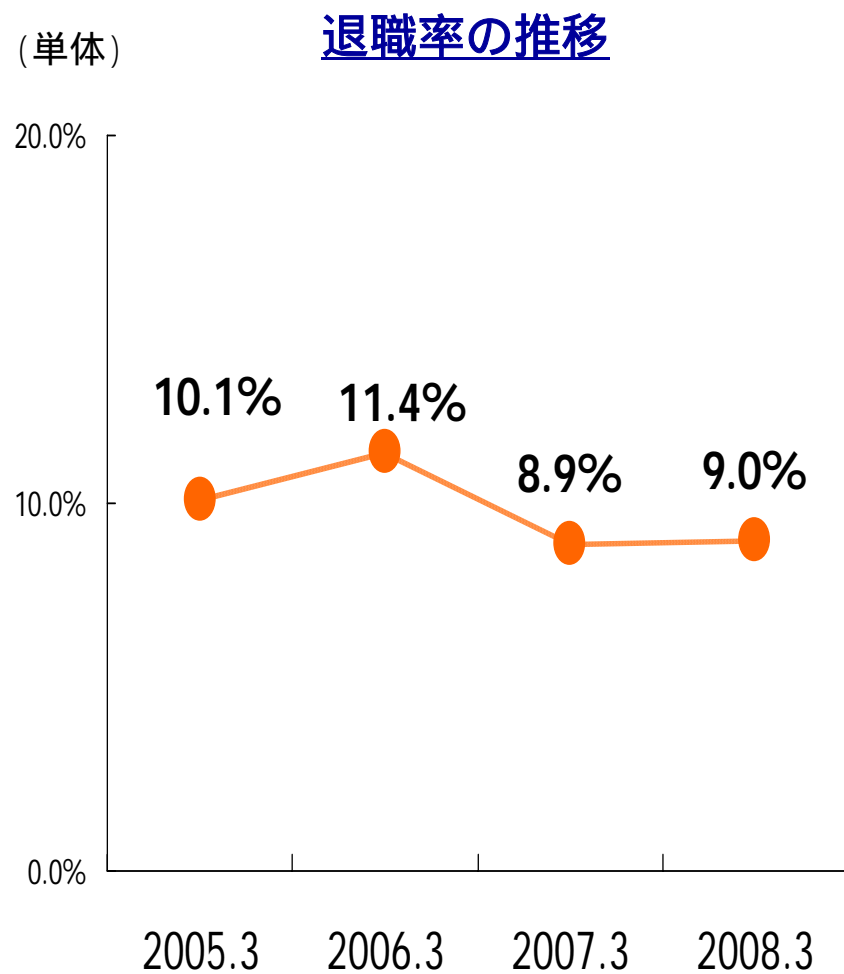
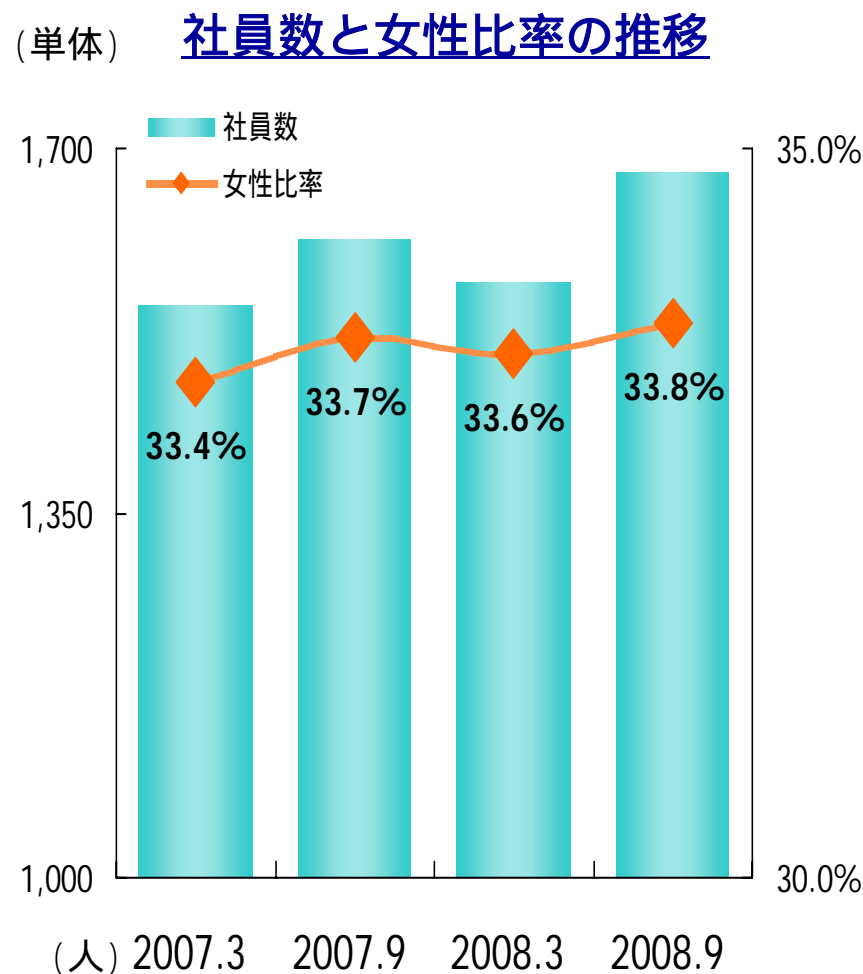
3年間で100名を育成

### ▶ グループコラボレーション

- ・ システム開発 (ID、NCS、SD)
- ・ システム運営管理 (ID、NCS)
- ・ セキュリティ(ID)



## 女性比率を意識した人材採用と退職率改善対策の実施



Breakthrough 200!

私たちは、わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業です。

## 法令順守の徹底

- ★ コンプライアンスハンドブックを作成し、全グループ社員に配布
- ★ コンプライアンス勉強会をグループ全社にて実施（年2回）
- ★ 社内外にコンプライアンス相談窓口を設置
- ★ 社内CSRアンケートの実施（年1回）

- プライバシーマーク認証取得
- ISO9001認証取得
- ISMS(ISO27001)認証取得

## 環境保護への取り組み

- ★ ISO14001認証取得
- ★ チーム・マイナス6%に参加
- ★ 地域清掃活動

## 支援活動

- ★ 华中科技大学ソフトウェア学部（中国・武漢）に「ID奨学金」を設立（現在在籍奨学生6名）

**NEW!!**

「湖北経済学院ID日本語講座基金」を設立

- ★ 「J-KIDS」全国小学校ホームページ大賞に協賛
- ★ シニア向けパソコン教室開催（年2回）
- ★ 国連WFP協会（国連世界食糧計画を支援するNPO法人）の評議員に加入
- ★ ユニセフ（国際連合児童基金）に募金
- ★ 新内浄瑠璃の継承者、鶴賀流第11代家元鶴賀若狭掾師匠（人間国宝）の活動支援
- ★ 「東京オペラグループ」とフルートアンサンブル「Lynx」の活動支援



## 免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社インフォメーション・ディベロプメントの業績予想、将来戦略、事業計画などの将来情報や経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な要素が含まれています。

これらの歴史的事実以外の情報に含まれる予測及び計画は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は、今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な原因により、記述されている将来予測及び計画とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。